

概 要

- ① 市町村立図書館等や県立学校図書館等の図書館活動の活性化に資するよう、オーテピア高知図書館の新鮮で豊富な資料・情報と司書の専門性を生かし、物的・人的側面からの支援を強化する。
- ② これまで蓄積してきたサービスのノウハウや関係機関・団体とのネットワークを生かし、市町村の地域課題や施設整備の状況、学校の特色やデジタル化等に対応したより効果的な支援を行う。
- ③ 市町村立図書館等による読書・情報環境の改善については、「高知県図書館振興計画」に基づき、県生涯学習課との役割分担を踏まえ、図書館及び所管行政に対して連携して働きかけを行う。

計画に基づく取組の進化

市町村図書館（室）における課題解決型サービス実施の支援

- ・物的（資料、物流サービス）・人的（研修）資源の提供
- ・巡回訪問（課題の聴き取り、個別支援に向けた訪問）
- ・サービス・取組についての助言、関係機関・団体との仲介 など

地域課題にアプローチする市町村立図書館の増加

■ 土佐市

- ・技能実習生交流イベントでのサービス紹介
- ・「やさしい日本語」の活用、多文化コーナー設置
- ・技能実習生受入企業へのサービス紹介
- ・教育センターと連携した不登校生徒への支援

■ 香美市

- ・高知工科大、山田高校との連携
- ・バリアフリーサービスの展開（サビエ加入、対面音訳室設置）

■ 越知町

- ・福祉保健所講座への出前図書館
- ・入院患者等への宅配
- ・遠隔地域への配本

■ 香南市

- ・教育支援センター「森田村塾」への支援
- ・バリアフリーサービスの展開（サビエ加入）

■ 梶原町

- ・「認知症カフェ」の開催
- ・遠隔地域への配本
- ・観光客の集客（図書館・建築巡り）



県内市町村の図書館施設整備の動き

- ・整備済み：梶原町(H30.5)、土佐市(R2.2)、香美市(R4.11)
- ・整備予定：四万十町(R6)、南国市(R7～8)、佐川町(R6)、須崎市(R8)、土佐町(R8)

進化に応じた新たな課題

- 地域課題に対応したサービスの創出・向上
・他市町村のモデルとなるよう、地域課題に対応したサービスの創出・向上を後押しする必要がある。
・自治体や地域の実情に合わせて、よりきめ細かな支援が求められる。

- オーテピア高知図書館による「高知県外国人材確保・活躍戦略」への参画
・外国人労働者の増加に対応し、市町村立図書館等でも多文化サービスに取り組めるよう、支援を強化する必要がある。

- 図書館施設整備の動きがある市町村立図書館への支援
・新館整備を契機として、図書館活動の活発化を図るとともに、自立的かつ持続的に運営できるように働きかけが必要がある。

- 図書館未設置自治体に対する支援の重点化
・移動図書館の運行の重点化など、より厳しい読書・情報環境にある自治体に対して、集中的に支援する方策を検討する必要がある。

新たな課題に対応した取組方針

- 市町村立図書館等への物的・人的支援のさらなる強化
・市町村立図書館等のニーズに応じた支援用図書や研修の充実
- ・「やさしい日本語」「多文化共生」等に関する資料の収集・提供による多文化サービスの取組の支援（R5年度新規予算「外国人材確保・活躍」）
- ・市町村立図書館によるサービスの好事例のチラシ等での紹介（R5年度高知県図書館協会新規事業）
- 「高知県図書館振興計画」の目標達成に向けた県生涯学習課との一体的な取組
・定期的な意見・情報交換の機会の確保
- ・集中的な働きかけを要する自治体に対して、生涯学習課と図書館の職員の同行訪問による所管行政への働きかけ
- ・巡回訪問を通じて把握した市町村立図書館等の実態や課題等の共有

アウトリーチの機能拡大

これまで蓄積してきたサービスのノウハウ等を生かした支援

アウトリーチ担当（支援協力担当配置）を通じて、館内の各サービス担当の協力を得ながら、地域の課題やニーズに対応したサービスの創出・向上に資する働きかけを行う。

- ・主題部門別によるサービス・取組の蓄積
- ・各分野の関係機関・団体とのネットワーク
- ★「営業」にとどまらない、情報資源の「コーディネーター」としての役割

図書館活用促進のための連携・協力の取組

- ・物的（資料、物流サービス）・人的（研修）資源の提供
- ・学校訪問（課題の聴き取り、サービス周知のための訪問）
- ・オーテピア高知図書館を使ったPR など

図書館活用のバリエーションの増加

■ 団体貸出の増加

- ・毎年1.5倍ペースで増加



■ 学習活動・教科教育に踏み込んだ連携

- ・モデル校における探究学習への支援（オーテピア高知図書館での図書館活用講座の実施など）
- ・教育研究部会等でのサービス説明
- ・校内教職員研修への参考資料の提供



▲ 県立学校での高知県電子図書館の活用

■ 電子コンテンツの活用

- ・「gアカウント」の発行
県立学校の全教職員
保護者の同意を得た学校単位の児童生徒
※高知市立学校の一斉登録(R5.1)
- ・学習成果物の高知県電子図書館への掲載

- 教育振興基本計画に掲げる「デジタル」「グローバル」「グリーン」の各取組の推進を支援
・デジタル教育のカリキュラムに沿った資料の収集が必要である。
・高知工科大学と県教委との連携協定に連動した取組を資料面で支える必要がある。
・研究指定校における実践的な取組を情報面からサポートできるよう、研究テーマに関連する資料を収集する必要がある。

- 「高知県電子図書館」等のデジタルコンテンツの利用促進
・「gアカウント」による利用登録を増やすとともに、教育活動における電子コンテンツの活用を広める必要がある。

- 情報リテラシーの向上支援
・探究学習に求められる情報リテラシーの向上のために、学年に応じたプログラムの開発が必要である。
・モデル校における成果を県内全域に普及させる取組が必要である。

- 教育活動の「即戦力」となる資料の充実
・「デジタル」「グリーン」「グローバル」分野の資料の戦略的な収集・提供（R5年度新規予算「県立学校との連携・協力」）
- ・教科教育に効果的な資料や実践事例の収集を目的とした、県高等学校課や高等学校振興課、モデル校の教職員等との情報共有

- デジタル社会に求められる情報リテラシーの向上支援
・モデル校と連携し、学習の内容に応じた図書館活用講座のプログラムの作成
- ・学術書、専門書をメインとした閲覧型電子書籍サービスKinoDenの活用の周知
- ・学校の特色に応じたデータベースの紹介・利用促進

- 利用拡大のためのさらなる広報
・あらゆる機会をとらえた広報と研究指定校等を対象とした図書館活用の提案
- ・校長会等や県広報紙を活用した先進的取組の周知